



国際芸術祭あいち2025

灰と薔薇のあいまに

Aichi Triennale 2025:

A Time Between Ashes and Roses

2025 年 7 月 22 日（火）

国際芸術祭「あいち 2025」
参加アーティスト ソロモン・イノスによる
壁画制作ワークショップ「Laulima（たくさんの手）」を
愛知県児童総合センターで開催します

国際芸術祭「あいち」組織委員会では、芸術祭の開幕に先立ち、参加アーティストであるソロモン・イノス（1976 年オアフ（米国）生まれ）による壁画制作ワークショップ「Laulima（たくさんの手）」を愛知県児童総合センターで開催します。

ワークショップでは、壁画の元になる画用紙サイズのドローイングを制作します。このドローイングは、その後アーティストの手によって繋ぎ合わされ、大きな壁画となって芸術祭会場の一つである愛知芸術文化センターに展示される予定です。

子どもから大人まで、どなたでも参加いただけます。



参考：過去のワークショップ画像

1 開催概要

日 程：2025 年 8 月 7 日（木）～13 日（水）
10:00～16:00（ただし 8 月 7 日（木）のみ 13:30～16:00）

会 場：愛知県児童総合センター チャレンジタワー
（愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1 愛・地球博記念公園内）

対 象：子どもから大人までどなたでも

参 加 費：無料

※愛知県児童総合センターへの入場料 300 円（中学生以下無料）が必要

参加方法：上記時間内に会場までお越しください（事前予約不要）

留意事項：洋服や持ち物が汚れる可能性があります

2 内容

ネイティブ・ハワイアンソロモン・イノスは、地域の人々との協働や教育現場との連携に熱心に取り組み、世界各地で実施している壁画プロジェクトをはじめ、子どもたちとのワークショップや文化伝承活動など、豊富な経験を持っています。

国際芸術祭「あいち 2025」では、あいちの子どもたちを中心としたコミュニティと共に、壁画制作のワークショップを行います。このワークショップは、イノスが考案した「少しのルール」をもとに、「子どもたちの自由な創造性を引き出す」ことを目的としています。ワークショップで制作したドローイングは、後にイノスによって繋ぎ合わされ、最終的には一つの大きな壁画となって、愛知芸術文化センターに展示される予定です。

3 アーティストについて

ソロモン・イノス

1976 年オアフ（米国）生まれ。オアフ（米国）拠点。ネイティブ・ハワイアンの画家ソロモン・イノスは、イラストレーター、壁画アーティスト、ゲームデザイナー、教育者、語り部であり、また 35 年の経験を持つ地域社会の活動家でもあります。ハワイのホノルルを拠点に活動しているイノスの作品は、ハワイだけでなく、世界中でも目にすることができます。イノスは、地域で貢献活動をリードする家族のもとに生まれ、幼い頃から自己の文化を伝え、作品を通して希望を語り継ぐ「ナラティブ」の制作に携わることを受け継いできました。



Solomon Enos
《MMMMRRRZZZMMM》 2019

[本事業に関する問合せ]

国際芸術祭「あいち」組織委員会 事業担当
TEL：052-971-0622（平日 9:00～17:00）

[取材・掲載に関する問合せ]

国際芸術祭「あいち」組織委員会 広報担当
TEL：052-971-6182（平日 9:00～17:00）FAX：052-971-6115
Email：press@aichitriennale.jp